

令和2年度 石川県食品衛生監視指導計画の実施結果の概要

令和2年度 石川県食品衛生監視指導計画に基づく監視指導の実施結果の概要を取りまとめたので、食品衛生法(昭和22年法律第233号)第24条第5項の規定に基づき公表します。(金沢市は除く。)

1 食中毒の発生状況

(1) 発生件数と患者数

令和2年度は、令和元年度に比べ、発生件数で5件減少し、患者数で48人減少しました。

表1 食中毒の発生状況

区分	令和元年度	令和2年度	増減
件数	11件	6件	5件減
患者数	70人	22人	48人減

(2) 特徴

令和2年度に発生した食中毒の病因物質別発生状況では、アニサキス2件、ノロウイルス1件、カンピロバクター1件、ヒスタミン1件、不明1件となりました。

また、原因施設別発生状況では、焼肉屋が2件、料理店、中華料理店、食品販売店及び家庭が各1件となりました。

2 施設への立入検査の状況

施設への立入検査は、過去の食中毒の発生頻度、製造・販売される食品の流通の広域性などを考慮して、監視の重要度の高い業種(施設)の順に分類し、ランクごとに監視回数を定めて実施しました。

また、期間を定めて一斉監視指導を実施しました。立入検査では、施設の構造設備や食品の取扱い、食品の表示等について指導を行いました。

表2 立入検査件数

区分	実施件数
立入検査施設	8,540

3 食品等の収去検査の状況

県内で製造、販売される食品について、法令等に定める基準に基づき、県内の製造、販売施設から収去し、細菌や食品添加物、抗生物質、残留農薬等の検査を実施しました。不適切なものについては、器具等の洗浄・消毒の指導や自主回収など必要な措置を行い、食品の安全確保を図りました。

表3 収去検査結果

区 分	実施数	不適数
収去検査食品等	1,000	19

4 食中毒等健康危害発生時の対応状況

食中毒の発生に際しては、速やかに原因調査を実施し、再発防止など迅速かつ的確な対応を図りました。

5 その他食品衛生の人材育成、資質向上対策等の状況

食品等事業者の自主的衛生管理を進めるため、公益社団法人石川県食品衛生協会主催の食品衛生責任者研修会の開催に協力しました。

○食品衛生責任者研修会受講者数：6,485人

また、食品衛生に係る人材育成・資質向上等を図るため、県内外の研修会等に食品衛生監視員 延べ16名を派遣しました。